



北海道大学大学院農学研究院・大学院農学院・農学部・ 大学院国際食資源学院が黒松内町と連携協定を締結

～研究開発と教育への貢献に期待～

【概要】

北海道大学大学院農学研究院・大学院農学院・農学部・大学院国際食資源学院と黒松内町は、2023年11月27日（月）に連携協定を締結しました。

本協定はそれぞれが保持する研究及び教育機能について相互に緊密な協力関係を確保し、研究開発と教育の発展に寄与することを目的とするものです。

【協定締結に至った経緯】

黒松内町はブナの北限のまちとして知られているほか、豊かな自然を生かした農業・畜産業の盛んな地域です。以前より、本学農学研究院の多くの研究者が湿地や河川、森林の調査研究や、無肥料・無農薬放牧法の研究など、黒松内町の協力のもと、様々な研究開発、教育活動に取り組んできました。

また、近年では、国際食資源学院のフィールド実習や海外からの短期留学生向けプログラムであるPARE実習など、町内の自然や農業生態系を生かした教育プログラムの実施先ともなっており、北海道の持続性を間近に学ぶことのできる場所として高い価値のある町となっています。

この度、産学官の連携による教育研究をより一層推進するとともに、研究成果を黒松内町に還元し更なる発展につなげるため、連携協定を締結するに至りました。

【連携の内容】

1. 生物多様性保全と持続的利用に関する事項
2. 農地、森林、朱太川水系及び海洋の物質循環に関する事項
3. 再生型農業の研究及び発展に関する事項
4. 地球温暖化防止に資する土壌炭素貯留等に関する事項
5. 教育・人材育成の相互支援
6. 農産物の高付加価値化と事業化による地域雇用創出に関する事項
7. その他、本協定の目的遂行に必要な事項

【協定の有効期限】

2023年11月27日～2026年3月31日

（有効期間満了の1ヶ月前までに、二者間で協議及び合意があった場合は本協定を1年間更新するものとし、その後も同様の扱いとします。）

調印式

日 時 2023 年 11 月 27 日（月）13 時～14 時（受付：12 時 30 分から）

場 所 北海道大学農学部本館 1 階 S103 会議室

（札幌市北区北 9 条西 9 丁目 JR 札幌駅より徒歩 13 分）

農学部本館正面玄関より入って左手すぐにある会議室です。会場まで直接お越しください。

出席者 野口 伸（北海道大学大学院農学研究院長）

曾根輝雄（北海道大学大学院国際食資源学院長）

鎌田 満（黒松内町長）

お問い合わせ先（取材申込み）

北海道大学大学院農学研究院 准教授 内田義崇（うちだよしたか）

T E L 011-706-2405 メール uchiday@uchidalab.com

配信元

北海道大学社会共創部広報課（〒060-0808 札幌市北区北 8 条西 5 丁目）

T E L 011-706-2610 F A X 011-706-2092 メール jp-press@general.hokudai.ac.jp

黒松内町企画環境課（〒048-0192 寿都郡黒松内町字黒松内 302 番地 1）

T E L 0136-72-3311 F A X 0136-72-3316 メール kikaku@town.kuromatsunai.hokkaido.jp